

令和 5 年度環境物品等調達方針

北海道グリーン購入基本方針（平成 13 年 8 月 6 日施行）に基づき、令和 5 年度における環境物品等の調達は、本調達方針により行う。

1 特定調達品目、判断の基準及び配慮事項等

本年度における道が重点的に調達を推進する環境物品等の種類（以下、特定調達品目という）は、次表の左欄に掲げる 1 から 22 の分野に係る 287 品目及び「北海道認定リサイクル製品及び北海道リサイクルブランド」並びに「道産木材製品」とする。

「特定調達品目、判断の基準及び配慮事項等」については、別記のとおりとし、その調達目標は次表のとおりとする。

分野（特定調達品目数）	調達目標	備考	頁
1 紙類 (7)	100%		8
2 文具類 (85)	100%		16
3 オフィス家具等 (12)	100%		28
4 画像機器等 (10)	100%（注1）		32
5 電子計算機等 (4)	100%		60
6 オフィス機器等 (5)	100%		78
7 移動電話等 (3)	100%		84
8 家電製品 (6)	100%（注1）		87
9 エアコンディショナー等 (4)	100%（注1）		96
10 温水器等 (3)	100%		103
11 照明 (4)	100%（注1）		112
12 自動車等 (8)	100%（注1）	警察活動上支障があると認められる車両を除く。	118
13 消火器 (1)	100%		128
14 制服・作業服等 (4)	100%		130
15 インテリア・寝装寝具 (11)	100%（注1）		133
16 作業手袋 (1)	100%		144
17 その他繊維製品 (7)	100%		145
18 設備 (11)	－（注1）		152
19 災害備蓄用品 (10)	100%		164
20 公共工事 (70)	一物品目（※）を除き、事業ごとの特性、必要とされる強度や耐久性、機能の確保等に留意し、可能な限り調達に努める。	※一物品目（下塗用塗料（重防食）、セラミックタイル、再生木質ボード、建設機械）については、100%の数量割合（注2）を設定	172

別 記

定 義

この別記において、「判断の基準」、「基準値 1」、「基準値 2」、「配慮事項」は以下のとおりとする。

「判断の基準」	：「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」第 6 条第 2 項第 2 号に規定する特定調達物品等であるための基準
「基準値 1」	：判断の基準において同一事項に複数の基準値を設定している場合に、当該事項におけるより高い環境性能の基準値であり、可能な限り調達を推進していく基準として示すもの
「基準値 2」	：判断の基準において同一事項に複数の基準値を設定している場合に、各機関において調達を行う最低限の基準として示すもの
「配慮事項」	：特定調達物品等であるための要件ではないが、特定調達物品等を調達するに当たって、更に配慮することが望ましい事項

特定調達品目の分野及び品目一覧（22分野287品目※）

※「北海道認定リサイクル製品及び北海道リサイクルブランド」並びに「道産木材製品」を除く。

分 野 (特定調達品目数)	品 目 名
1 紙類 (7)	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー用紙 ・フォーム用紙 ・インクジェットカラープリンター用塗工紙 ・塗工されていない印刷用紙 ・塗工されている印刷用紙 ・トイレットペーパー ・ティッシュペーパー
2 文具類 (85)	<ul style="list-style-type: none"> ・シャープペンシル ・シャープペンシル替芯 ・ボールペン ・マーキングペン ・鉛筆 ・スタンプ台 ・朱肉 ・印章セット ・印箱 ・公印 ・ゴム印 ・回転ゴム印 ・定規 ・トレー ・消しゴム ・ステープラー（汎用型） ・ステープラー（汎用型以外） ・ステープラー針リムーバー ・連射式クリップ（本体） ・事務用修正具（テープ） ・事務用修正具（液状） ・クラフトテープ ・布粘着テープ（プラスチック製クロステープを含む。） ・両面粘着紙テープ ・製本テープ ・ブックスタンド ・ペンスタンド ・クリップケース ・はさみ ・マグネット（玉） ・マグネット（バー） ・テープカッター ・パンチ（手動） ・モルトケース（紙めくり用スポンジケース） ・紙めくりクリーム ・鉛筆削（手動） ・OAクリーナー（ウェットタイプ） ・OAクリーナー（液タイプ） ・ダストブロワー ・レターケース ・メディアケース ・マウスパッド ・OAフィルター（枠あり） ・丸刃式紙裁断機 ・カッターナイフ ・カッティングマット ・デスクマット ・OHPフィルム ・絵筆 ・絵の具 ・墨汁 ・のり（液状）（補充用を含む。） ・のり（澱粉のり）（補充用を含む。） ・のり（固形）（補充用を含む。） ・のり（テープ） ・ファイル ・バインダー ・ファイリング用品 ・アルバム（台紙含む。） ・つづりひも ・カードケース ・事務用封筒（紙製） ・窓付き封筒（紙製） ・けい紙 ・起案用紙 ・ノート

	<ul style="list-style-type: none"> ・パンチラベル ・タックラベル ・インデックス ・付箋紙 ・付箋フィルム ・黒板拭き ・ホワイトボード用イレーザー ・額縁 ・テープ印字機等用カセット ・テープ印字機等用テープ ・ごみ箱 ・リサイクルボックス ・缶 ・ボトルつぶし機（手動） ・名札（机上用） ・名札（衣服取付型・首下げ型） ・鍵かけ（フックを含む。） ・チョーク ・グラウンド用白線 ・梱包用バンド
3 オフィス家具等（12）	<ul style="list-style-type: none"> ・いす ・机 ・棚 ・収納用什器（棚以外） ・ローパーティション ・コートハンガー ・傘立て ・掲示板 ・黒板 ・ホワイトボード ・個室ブース ・ディスプレイスタンド
4 画像機器等（10）	<ul style="list-style-type: none"> ・コピー機 ・複合機 ・拡張性のあるデジタルコピー機 ・プリンタ ・プリンタ複合機 ・ファクシミリ ・スキャナ ・プロジェクタ ・トナーカートリッジ ・インクカートリッジ
5 電子計算機等（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・電子計算機 ・磁気ディスク装置 ・ディスプレイ ・記録用メディア
6 オフィス機器等（5）	<ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダー ・デジタル印刷機 ・掛時計 ・電子式卓上計算機 ・一次電池又は小形充電式電池
7 移動電話（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話 ・PHS ・スマートフォン
8 家電製品（6）	<ul style="list-style-type: none"> ・電気冷蔵庫 ・電気冷凍庫 ・電気冷凍冷蔵庫 ・テレビジョン受信機 ・電気便座 ・電子レンジ
9 エアコンディショナー等（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用エアコンディショナー ・業務用エアコンディショナー ・ガスヒートポンプ式冷暖房機 ・ストーブ
10 温水器等（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒートポンプ式電気給湯器 ・ガス温水機器 ・石油温水機器 ・ガス調理機器
11 照明（3）	<ul style="list-style-type: none"> ・LED照明器具 ・LEDを光源とした内照式表示灯 ・電球形LEDランプ
12 自動車等（8）	<ul style="list-style-type: none"> ・乗用車 ・小型バス ・小型貨物車 ・バス等 ・トラック等 ・トラクタ ・乗用車用タイヤ ・2サイクルエンジン油
13 消火器（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器
14 制服・作業服等（4）	<ul style="list-style-type: none"> ・制服 ・作業服 ・帽子 ・靴
15 インテリア・寝装寝具（11）	<ul style="list-style-type: none"> ・カーテン ・布製ブラインド ・金属製ブラインド ・タイルカーペット ・ニードルパンチカーペット ・タフテッドカーペット ・織じゅうたん ・毛布 ・ふとん ・ベッドフレーム ・マットレス
16 作業手袋（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・作業手袋
17 その他繊維製品（7）	<ul style="list-style-type: none"> ・集会用テント ・ブルーシート ・防球ネット ・旗 ・のぼり ・幕 ・モップ
18 設備（11）	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電システム（公共・産業用） ・太陽熱利用システム（公共・産業用） ・燃料電池 ・エネルギー管理システム ・生ゴミ処理機 ・節水器具 ・給水栓 ・日射調整フィルム ・低放射フィルム ・テレワーク用ライセンス ・Web 会議システム
19 災害備蓄用品（10）	<ul style="list-style-type: none"> ・災害備蓄用飲料水 ・アルファ化米 ・保存パン ・乾パン ・レトルト食品等 ・栄養調整食品 ・フリーズドライ食品 ・非常用携帯燃料 ・携帯発電機 ・非常用携帯電源 <p>※毛布、作業手袋、テント、ブルーシート、一次電池は他の分野と同品目</p>

12. 自動車等

12-1 自動車

○品目及び判断の基準等

乗用車	<p>【判断の基準】</p> <p>①乗用車にあつては、電動車等であること。ただし、ハイブリッド自動車の場合は、これに加えて表1に示された区分の排出ガス基準（ガソリン又はLPガスを燃料とする車両に限る。）に適合するとともに、表2に示された区分ごとの燃費基準値を満たし、かつ、備考12に示された算定式により算定された燃費基準値を下回らないこと。</p> <p>②小型バスにあつては、基準値1はアを、基準値2はイを満たすこと。ただし、ガソリンを燃料とする自動車の場合は、表1に示された区分の排出ガス基準に適合すること。</p> <p>ア. 次世代自動車であること。</p> <p>イ. 次世代自動車であること又は表3に示された区分の燃費基準値を満たすこと。</p> <p>③小型貨物車にあつては、基準値1はアを、基準値2はイを満たすこと。ただし、ガソリン又はLPガスを燃料とする自動車の場合は、表1に示された区分の排出ガス基準に適合すること。</p> <p>ア. 次世代自動車であること。</p> <p>イ. 次世代自動車であること又は利用する燃料に対応した表4-1、表4-2及び表4-3に示された区分の燃費基準値を満たすこと。</p> <p>④バス等にあつては、基準値1はアを、基準値2はイを満たすこと。</p> <p>ア. 次世代自動車であること。</p> <p>イ. 次世代自動車であること又は表5に示された区分の燃費基準値を満たすこと。</p> <p>⑤トラック等にあつては、基準値1はアを、基準値2はイを満たすこと。</p> <p>ア. 次世代自動車であること。</p> <p>イ. 次世代自動車であること又は表6に示された区分の燃費基準値を満たすこと。</p> <p>⑥トラクタにあつては、基準値1はアを、基準値2はイを満たすこと。</p> <p>ア. 次世代自動車であること。</p> <p>イ. 次世代自動車であること又は表7に示された区分の燃費基準値を満たすこと。</p> <p>【配慮事項】</p> <p>①エアコンディショナーの冷媒に使用される物質の地球温暖化係数は150以下であること。</p> <p>②資源有効利用促進法の判断の基準を踏まえ、製品の長寿命化及び省資源化又は部品の再使用若しくは材料の再生利用のための設計上の工夫がなされていること。特に、希少金属類の減量化や再生利用のための設計上の工夫がなされていること。</p> <p>③再生材が可能な限り使用されていること。</p> <p>④バイオマスプラスチック又は合成繊維であつて環境負荷低減効果が確認されたものが可能な限り使用されていること。</p> <p>⑤エコドライブ支援機能を搭載していること。</p>
小型バス	
小型貨物車	
バス等	
トラック等	
トラクタ	

備考) 1 本項の判断の基準の対象とする自動車は、道路運送車両法施行規則（昭和26年運輸省令第74号）第2条の普通自動車、小型自動車及び軽自動車（二輪自動車を除く。）とする。

- 2 「車両総重量」とは、道路運送車両法第 40 条第 3 号に規定する車両総重量をいう。以下同じ。
- 3 「車両重量」とは、道路運送車両の保安基準（昭和 26 年運輸省令第 67 号）第 1 条第 6 号に規定する空車状態における車両の重量をいう。以下同じ。
- 4 「電動車等」とは、電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車及び水素自動車をいう。
- 5 「次世代自動車」とは、電動車等、天然ガス自動車及びクリーンディーゼル自動車をいう。
- 6 「乗用車」とは、乗車定員 9 人若しくは 10 人以下かつ車両総重量 3.5t 以下の乗用自動車であって、普通自動車、小型自動車及び軽自動車をいう。
- 7 「小型バス」とは、乗車定員 11 人以上かつ車両総重量 3.5t 以下の乗用自動車をいう。
- 8 「小型貨物車」とは、車両総重量 3.5t 以下の貨物自動車をいう。
- 9 「バス等」とは、乗車定員 10 人以上かつ車両総重量 3.5t 超の乗用自動車をいう。
- 10 「トラック等」とは、車両総重量 3.5t 超の貨物自動車（けん引自動車を除く。）をいう。
- 11 「トラクタ」とは、車両総重量 3.5t 超の貨物自動車（けん引自動車に限る。）をいう。
- 12 乗用車に係る燃費基準値（WLTC モード燃費値）の算定方法は、次式による。

$$FE = (-2.47 \times 10^{-6} \times M^2 - 8.52 \times 10^{-4} \times M + 30.65) \times \alpha \times \beta \quad (M < 2,759\text{kg})$$

$$FE = 9.5 \times \alpha \times \beta \quad (M \geq 2,759\text{kg})$$
FE：燃費基準値（km/L）（小数点以下第 1 位未満を四捨五入）
M：車両重量（kg）
 α ：燃費基準達成率であって 0.6
 β ：燃料がガソリンの場合は 1.0、軽油の場合は 1.1、LP ガスの場合は 0.74
- 13 配慮事項①については、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（平成 13 年法律第 64 号）第 2 条第 2 項の指定製品の対象となる製品に適用するものとする。
- 14 「地球温暖化係数」とは、地球の温暖化をもたらす程度の二酸化炭素に係る当該程度に対する比を示す数値をいう。
- 15 「希少金属類」とは、昭和 59 年 8 月の通商産業省鉱業審議会レアメタル総合対策特別小委員会において特定された 31 鉱種（希土類は 17 元素を 1 鉱種として考慮）の金属をいう。
- 16 「バイオマスプラスチック」とは、原料として植物などの再生可能な有機資源を使用するプラスチックをいう。
- 17 「環境負荷低減効果が確認されたもの」とは、製品のライフサイクル全般にわたる環境負荷についてトレードオフを含め定量的、客観的かつ科学的に分析・評価し、第三者の LCA 専門家等により環境負荷低減効果が確認されたものをいう。
- 18 「エコドライブ支援機能」とは、最適なアクセル操作、シフトチェンジ等の運転者への支援機能、エコドライブ実施状況の表示、分析・診断等の機能、カーナビゲーションシステムと連動した省エネルギー経路の選択機能等をいう。
- 19 ガソリンを燃料とする自動車にあつては、バイオエタノール混合ガソリン（E3、E10 及び ETBE）の供給体制が整備されている地域から、その積極的な利用に努めること。
- 20 軽油を燃料とする自動車にあつては、バイオディーゼル燃料混合軽油（B5）の供給体制が整備されている地域から、その積極的な利用に努めること。

2 1 納入期限に間に合わないおそれのある場合については、道有車にあっては購入時期の見直しの検討、借上車にあっては借上期間の延長の検討を行い、納入期間を十分に確保した上で、判断の基準に適合する自動車を導入すること。

2 2 予算上の制約を受ける場合については、ダウンサイジング（車両の小型化）を検討し、判断の基準に適合する自動車を導入すること。

表 1 ガソリン自動車又はLPガス自動車に係る排出ガス基準

区 分		一酸化炭素	非メタン炭化水素	窒素酸化物
乗用車	JC08モード	1.15g/km以下	0.013g/km以下	0.013g/km以下
	WLTCモード	1.15g/km以下	0.05g/km以下	0.025g/km以下
小型バス（1.7t以下）軽量貨物車	JC08モード	1.15g/km以下	0.025g/km以下	0.025g/km以下
	WLTCモード	1.15g/km以下	0.05g/km以下	0.025g/km以下
小型バス（1.7t超）中量貨物車	JC08モード	2.55g/km以下	0.025g/km以下	0.035g/km以下
	WLTCモード	2.55g/km以下	0.075g/km以下	0.035g/km以下
軽貨物車	JC08モード	4.02g/km以下	0.025g/km以下	0.025g/km以下
	WLTCモード	4.02g/km以下	0.05g/km以下	0.025g/km以下

備考） 1 粒子状物質については、排出がないとみなされる程度であること。

2 「軽量貨物車」とは、車両総重量 1.7t 以下の貨物自動車をいう。以下同じ。

3 「中量貨物車」とは、車両総重量 1.7t 超 3.5t 以下の貨物自動車をいう。以下同じ。

4 「軽貨物車」とは、貨物自動車のうち軽自動車であるものをいう。以下同じ。

5 排出ガスの測定モードに即し JC08 モード又は WLTC モードのいずれかを満たすこと。

表 2 ガソリン乗用車、ディーゼル乗用車及びLPガス乗用車に係るJC08モード又はWLTCモード燃費基準

区 分	燃費基準値		
	ガソリン	ディーゼル	LPガス
車両重量が 741kg未満	24.6km/L以上	27.1km/L以上	19.2km/L以上
車両重量が 741kg以上 856kg未満	24.5km/L以上	27.0km/L以上	19.2km/L以上
車両重量が 856kg以上 971kg未満	23.7km/L以上	26.1km/L以上	18.5km/L以上
車両重量が 971kg以上1,081kg未満	23.4km/L以上	25.8km/L以上	18.3km/L以上
車両重量が1,081kg以上1,196kg未満	21.8km/L以上	24.0km/L以上	17.1km/L以上
車両重量が1,196kg以上1,311kg未満	20.3km/L以上	22.4km/L以上	15.9km/L以上
車両重量が1,311kg以上1,421kg未満	19.0km/L以上	20.9km/L以上	14.9km/L以上
車両重量が1,421kg以上1,531kg未満	17.6km/L以上	19.4km/L以上	13.8km/L以上
車両重量が1,531kg以上1,651kg未満	16.5km/L以上	18.2km/L以上	12.9km/L以上
車両重量が1,651kg以上1,761kg未満	15.4km/L以上	17.0km/L以上	12.1km/L以上
車両重量が1,761kg以上1,871kg未満	14.4km/L以上	15.9km/L以上	11.3km/L以上
車両重量が1,871kg以上1,991kg未満	13.5km/L以上	14.9km/L以上	10.6km/L以上
車両重量が1,991kg以上2,101kg未満	12.7km/L以上	14.0km/L以上	10.0km/L以上
車両重量が2,101kg以上2,271kg未満	11.9km/L以上	13.1km/L以上	9.3km/L以上
車両重量が2,271kg以上	10.6km/L以上	11.7km/L以上	8.3km/L以上

表3 小型バス（車両総重量3.5t以下）に係るJC08モード又はWLTCモード燃費基準

区 分	燃費基準値
ガソリンを燃料とする小型バス	8.5km/L以上
軽油を燃料とする小型バス	9.7km/L以上

表4-1 ガソリン小型貨物車に係るJC08モード又はWLTCモード燃費基準

区 分				燃費基準値
自動車の種別	変速装置の方式	車両重量	自動車の構造	
軽貨物車	手 動 式	741kg未満	構造A	24.4km/L以上
		741kg以上		21.3km/L以上
	手動式以外のもの	741kg未満		21.9km/L以上
		741kg以上 856kg未満		20.6km/L以上
		856kg以上		19.8km/L以上
	手 動 式	741kg未満	構造B	19.1km/L以上
		741kg以上 856kg未満		18.9km/L以上
		856kg以上 971kg未満		18.1km/L以上
		971kg以上		17.2km/L以上
	手動式以外のもの	741kg未満		17.2km/L以上
		741kg以上 856kg未満		16.8km/L以上
		856kg以上 971kg未満		16.2km/L以上
		971kg以上		15.4km/L以上
軽量貨物車	手 動 式	1,081kg未満		21.3km/L以上
		1,081kg以上		19.7km/L以上
	手動式以外のもの	1,081kg未満		20.0km/L以上
		1,081kg以上1,196kg未満		18.2km/L以上
		1,196kg以上		16.9km/L以上
中量貨物車	手 動 式		構造A	14.9km/L以上
	手動式以外のもの	1,311kg未満		14.0km/L以上
		1,311kg以上		13.3km/L以上
	手 動 式	1,311kg未満	構造B1	12.5km/L以上
			構造B2	11.8km/L以上
		1,311kg以上1,421kg未満	構造B1	11.1km/L以上
			構造B2	10.7km/L以上
		1,421kg以上1,531kg未満	構造B1	10.8km/L以上
			構造B2	10.4km/L以上
		1,531kg以上1,651kg未満	構造B1	10.5km/L以上
			構造B2	10.2km/L以上
		1,651kg以上1,761kg未満	構造B1	10.3km/L以上
			構造B2	9.8km/L以上
		1,761kg以上	構造B1	10.2km/L以上
			構造B2	9.3km/L以上

	手動式以外のもの	1,311kg未満	構造B1	11.4km/L以上
			構造B2	11.0km/L以上
		1,311kg以上1,421kg未満	構造B1	10.3km/L以上
			構造B2	10.2km/L以上
		1,421kg以上1,531kg未満	構造B1	10.1km/L以上
			構造B2	9.3km/L以上
		1,531kg以上1,651kg未満	構造B1	9.9km/L以上
			構造B2	9.0km/L以上
		1,651kg以上	構造B2	8.3km/L以上
		1,651kg以上1,761kg未満	構造B1	9.6km/L以上
		1,761kg以上1,871kg未満		9.2km/L以上
		1,871kg以上		8.9km/L以上

- 備考) 1 「構造 A」とは、次に掲げる要件のいずれにも該当する構造をいう。以下同じ。
- ア 最大積載量を車両総重量で除した値が 0.3 以下となるものであること。
- イ 乗車装置及び物品積載装置が同一の車室内に設けられており、当該車室と車体外とを固定された屋根、窓ガラス等の隔壁により仕切られるものであること。
- ウ 運転者室の前方に原動機を有するものであること。
- 2 「構造 B」とは、構造 A 以外の構造をいう。以下同じ。
- 3 「構造 B1」とは、構造 B のうち備考 1 イに掲げる要件に該当する構造をいう。以下同じ。
- 4 「構造 B2」とは、構造 B のうち構造 B1 以外の構造をいう。以下同じ。

表 4-2 ディーゼル小型貨物車に係る JC08 モード又は WLTC モード燃費基準

区 分				燃費基準値
自動車の種別	変速装置の方式	車両重量	自動車の構造	
軽貨物車	手 動 式	741kg未満	構造A	26.8km/L以上
		741kg以上		23.4km/L以上
	手動式以外のもの	741kg未満		24.1km/L以上
		741kg以上 856kg未満		22.6km/L以上
		856kg以上		21.8km/L以上
	手 動 式	741kg未満	構造B	21.0km/L以上
		741kg以上 856kg未満		20.8km/L以上
		856kg以上 971kg未満		19.9km/L以上
		971kg以上		18.9km/L以上
	手動式以外のもの	741kg未満		18.9km/L以上
		741kg以上 856kg未満		18.5km/L以上
		856kg以上 971kg未満		17.8km/L以上
		971kg以上		17.0km/L以上
軽量貨物車	手 動 式	1,081kg未満		23.4km/L以上
		1,081kg以上		21.6km/L以上
	手動式以外のもの	1,081kg未満		22.0km/L以上
		1,081kg以上1,196kg未満		20.0km/L以上
		1,196kg以上		18.6km/L以上